

設定 RTP 送信元ポート 検証

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[設定 チェック:](#)

[設定手順](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

[追加参照](#)

概要

この資料に混線のような音声クオリティ問題を回避することをリアルタイム プロトコル (RTP) 送信元ポート 検証が可能にする方法を記述されています。

前提条件

要件

IOS 12.4(6)T か新しいバージョン。

使用するコンポーネント

このドキュメントは、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

注意： このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのような作業についても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

背景説明

公共スイッチ 電話回線網 (PSTN) 発信者はこのコールフローの混線が混合された音声 ストリームを経験します:

IP Phone -- Cisco Unified Communications Manager (CUCM) --- Session Initiation Protocol (SIP) IOS Gateway -- PSTN

これはゲートウェイがアクティブ コールと同じ IP アドレスおよびポートに向かう無効 RTP ストリームを受け取るとき起こる可能性があります。

無効なストリームに SIP Session Description Protocol (SDP) によってネゴシエートされるものより異なるソース IP アドレスおよびポートがあります。

設定 チェック:

かどうか確認して下さい:

a) やじり声 n 叫びは使用されています:

```
dial-peer voice x voip
session protocol multicast
```

[CLI 定義](#)

このコマンドは Hoot and Holler ネットワーキング 実装で音声会議コンフィギュレーションのために使用されます。このコマンドは 2 つ以上のポートが同じセッションに同時に加入するようにします。

b) SIP が設定されれば:

```
dial-peer voice x voip
session protocol sipv2
```

[CLI 定義](#)

設定手順

次のコマンドを設定してください。

```
voice service voip
sip
source filter
```

このコマンドはゲートウェイが未知のソースからのすべての不正なオーディオをブロックするので混線のためのリスクを除去します。

注: 上のコマンドは SIP だけのために動作します、従って H323、Media Gateway Control Protocol (MGCP) および Skinny Client Control Protocol (SCCP) はまだ影響を受けません。

。

設定例 :

```
voice service voip
allow-connections sip to sip
sip
bind control source-interface loopback0
bind media source-interface loopback0
source filter
```

```
dial-peer voice 2001 voip
destination-pattern 79...
session protocol sipv2
session target ipv4:172.16.32.21
incoming called-number .
voice-class codec 1
dtmf-relay rtp-nte
```

確認

現在、この設定に使用できる確認手順はありません。

トラブルシューティング

現在のところ、この設定に関する特定のトラブルシューティング情報はありません。

[追加参照](#)